

す まち
住みよい町



災害にそなえる



やま だ そうごうぼうさいくんれん
山田町総合防災訓練



か まい そうてい
火災を想定した
ひ なん ぶなこししょうがっこう
避難訓練 (船越小学校)

どんなときに
そなえた訓練
なのかな。



まつりちゃん かいくん

そのとき

地震

地震のときは、物が①落ちてこない、②たおれてこない、③移動してこない場所で頭を守ります。避難は、ゆれがおさまってからです。



東日本大震災の津波が到達したところ(中央町付近・左)と津波後の火災のようす(八幡町付近・右)です。

津波

気象庁は予想される津波の高さをもとめ「大津波警報」「津波警報」「津波注意報」「心配なし」を発表します。

| | 津波の高さ(予想) | 予想される被害 | 取るべき行動 |
|-------|--------------------------------------|--|--|
| 大津波警報 | 高いところで3メートルを超える。 | 木造の建物はこわれて流され、人は流れにまきこまれる。 | 海や川のそばにいる人は、すぐに高台や避難ビルなど、より高い安全な場所へ避難する。 |
| 津波警報 | 高いところで1メートルを超え、3メートル以下。 | 低い土地は水につかり、人は流れにまきこまれる。 | |
| 津波注意報 | 高いところで20センチ以上1メートル以下。津波による災害のおそれがある。 | 海の中では人は速い流れにまきこまれ、養殖いかだは流され、小さな船は転覆する。 | 海の中にいる人はすぐに海から上がって、海岸からはなれる。 |

コラム

津波てんでんこ

「津波てんでんこ」とは昔から伝えられてきた言葉で、「それぞれ」「めいめい」逃げることを意味します。津波が来そうだったら、とにかくだれにもかまわずに、自分で判断し、行動することが大切です。

- 自分の命は自分で守れ(自助原則)
- 自分が避難を始めることでほかの人の避難をうながす(他者避難の促進)

家族もきっと逃げている。
友だちもきっと逃げている。
だからぼくも逃げろ！
信頼の言葉なんだね。



- いざというときに自分がどうするか考えておく(事前準備)
- 家族どうしでいざというときの行動を話しあい決めておく(相互信頼)



町役場前にある避難看板です。

どうする？

いつでも、どんなときでも
すぐに持ち出せる非常持ち
出し袋は準備してあるかな。
どんな袋に、何を入れて
おけばいいかな。



越次郎さん

豪雨・水害

堤防の決壊や橋の流失などが起こる洪水害、用水路・側溝
などがあふれたり道路が水につかたりする浸水害、土砂が押し
流される土石流や斜面がくずれ落ちる崖くずれなどの土砂災害
が起こります。

また、台風では高潮災害が起きることがあります。

強風・暴風・落雷

1秒間に15～20メートルの風がふくと、歩いている人がころ
んだり、車の運転がむずかしくなったりし始めます。さらに風が
強くなると建物や農作物、交通機関に本格的な被害が出始め、
電線が切れて停電が起こることもあります。1秒間に40メートル
をこえる風だと、電柱が倒れることがあります。

雷はまわりより高いところに落ちやすいという性質がありますが、海面やグラウンドなど開けた場所にも落ちます。



令和元年東日本台風(2019年台風19号)による浸水のようすです(織笠地区)。

水で道路がしずんで
しまっているね。



防災気象情報と警戒レベルについて知っておこう

| 警戒レベル | 防災気象情報 | みなさんのやるべきこと |
|-------|--|--------------------------------|
| 5 | ・大雨特別警報 ・はん濫発生情報 | 命を守るための最善の行動をとる。 |
| 4 | ・土砂災害警戒情報 ・高潮特別警報 ・高潮警報 ・はん濫危険情報 ・危険度分布(非常に危険/極めて危険) | 避難を完了。 完了していなければすみやかに避難。 |
| 3 | ・大雨警報(土砂災害) ・洪水警報 ・はん濫警戒情報 ・高潮注意報(警報になる可能性に言及) ・危険度分布(警戒) | 高齢者等はすみやかに避難。 準備が整い次第、避難開始。 |
| 2 | ・はん濫注意情報 ・大雨注意報 ・洪水注意報 ・高潮注意報 ・危険度分布(注意) | ハザードマップなどで避難行動を確認。 |
| 1 | ・早期注意情報(警報級の可能性) | 災害への心構えを高める。 |

しらべてみよう

それぞれの災害のとき、どこに避難すればよいだらう。



「自助・共助」って
どういう意味だろ。



町を守る



山田町総務課危機管理室室長補佐(2017[平成29]年当時) 河村壽恵男さんのお話

私たち危機管理室の主な仕事は、次の5つです。

1. 国の防災基本計画にそって、町でどんな災害が起こりやすいか調べ、どう対応するかの計画(地域防災計画)を立てる
2. 国の定める国民の保護に間する基本指針にそって、テロ事件・武力攻撃が起こったときにどう対応するかの計画(国民保護計画)を立てる
3. 災害などが起きたとき、1・2の計画にそって対応していく
4. 災害へのそなえや対応について、町職員やみなさんに知ってもらう
5. 防災行政無線の整備や放送によってみなさんに情報を伝える



町職員対象の防災研修会。東日本大震災の経験の伝承と防災意識の向上を目的にしています。



防潮堤は「防災」のごく一部にすぎない、と河村さんは言います。

高い防潮堤ができ、住宅は高台に移っています。しかし、それで安心してしまうのは危険なことです。防災に100パーセントはありません。

さらに、地区ごとに自主防災組織を作り、「自分は自分で守る」「地区は地区で守る」という「自助・共助」の考え方をもち広めていかなければなりません。

「自分の命は自分で守る」ために、自分のまわりでどんな災害が起こるかを学び、身を守る上でどんなことをしたらいいか考え、行動していけば、「そのとき」おのずと体が動くのではないかと思います。そして、どんどん訓練に参加してください。訓練でできないことは、実際のときもできないのですから。

山田町が防災のためにやっていること

施設や設備をととのえる

- 防潮堤の整備
- 地盤のかさ上げや避難対策の強化
- 緊急避難施設・防災拠点の整備
- 災害時にもとぎれない高台間連絡道路の整備
- 高台へすみやかに移動できる避難道路の整備

やり方やしくみをととのえる

- 町民への情報伝達手段の強化(Twitter、Facebookなどでも)
- 避難所体制の充実・強化(要配慮者対策の強化・避難所運営マニュアルの策定)
- 指定避難所20か所に防災備蓄倉庫を設置

今後とくに 取り組んでいくこと

- 避難対策(避難計画・ハザードマップ・避難所や誘導の看板)
- 地域防災リーダーの育成(地域の防災力を向上させるキーパーソン)
- 自主防災組織の組織化と育成(地区は地区で守る)
- 防災についての町民への啓発(「自助・共助」の考え方を広める)

町が災害時相互応援協定などを結んでいる自治体・公共機関・民間団体(2018[平成30]年2月現在)

- 岩手県内各市町村 ● 秋田県仙北市 ● 北海道池田町 ● 青森県平川市 ● 青森県南部町 ● 長野県千曲市 ● 千葉県香取市
- 静岡県富士宮市 ● 国土交通省東北地方整備局 ● 一般社団法人宮古医師会 ● 日本郵便株式会社山田郵便局
- 東北電力株式会社宮古営業所 ● 岩手県石油商業協同組合 ● 宮古薬剤師会 ● 山田地区建設業会 ● NPO法人コメリ災害対策センター
- 白立建機日本株式会社 ● 岩手県生活衛生同業組合中央会 ● 社会福祉法人正受会 ● 社会福祉法人親和会 ● 株式会社メイト
- 有限会社ヘルパーはうす ● 有限会社すずらん介護事業所 ● 株式会社ウェルファー ● 有限会社介護施設あお空 ● 医療法人晃生会
- 社会福祉法人山田町社会福祉協議会 ● 有限会社あすなる ● 有限会社山崎タクシー ● 特定NPO法人石峠宅老所 ● 日本福祉用具供給協会
- 宮古歯科医師会 ● ヤマト運輸株式会社 ● 一般社団法人日本防災防犯自販機推進機構 ● みちのくコカ・コーラボトリング株式会社